

二〇二四年度 学校推薦型選抜〔特技推薦・書道部門〕

書道実技問題

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 二、提出作品はすべて本学指定の用紙を用いてください。
- 三、提出作品には必ず左下に**九桁の手続受験番号**を鉛筆で記入してください（受験番号を記入しないよう、注意してください）。
- 四、提出作品は全部で四枚です。設問順に重ねて机上において退出してください。
- 五、書き損じ及び残余の用紙は一切持ち帰ってはいけません。
- 六、問題用紙は、試験終了後持ち帰ってください。

一

(A) 別紙の「真草千字文」の指定部分を半紙に臨書しなさい。

「景行維賢剋念」

(B) 別紙の「関戸本古今集」を半紙中央に原本と同形式で原寸臨書しなさい。

「歌一首（作者名を含む）」

二

次の(A)、(B)の内、いずれかを選択して半紙に創作しなさい。

(A) 「山雲海月」

(行書体による)

(B) 「花の色はうつりにけりないたづらに我が身世にふるながめせしまに」

(漢字かな変換可、変体がな使用可、ちらし自由)

三

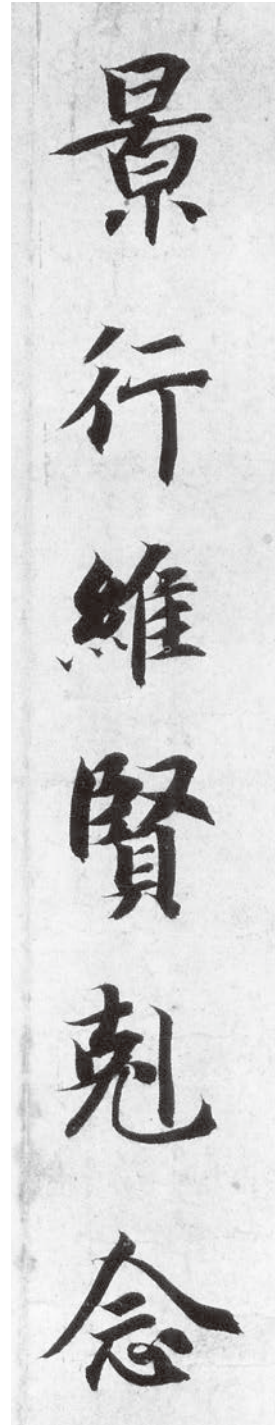
次の文を半紙に読みやすく書きなさい。

「日本にも、考へてみると、大昔から実に立派な書家が数多く居た。そしてやはり人のいふ通り弘法大師は偉大である。」

(漢字、かな変換不可、変体がな使用不可、句読点省略)

一

(A) 「真草千字文」



一

(B) 「関戸本古今集」

